

液化石油ガス法に係る手続き

事 故 届

- (1) 届出単位 液化石油ガス法の液化石油ガス販売事業者が行うこと。
- (2) 届出時期 法令で定められた事態になったとき、遅滞なく行うこと。
- (3) 提出先 事故が発生した所在地を管轄する知事
- (4) 提出書類
- ① 事故届書 [様式番号21]
 - ② 液化石油ガス一般消費者等事故調査報告書 [様式番号22]
 - ③ 消費先保安台帳の写し
 - ④ 直近の供給設備・消費設備保安点検調査票の写し
 - ⑤ 過去6ヵ月間の検針伝票の写し
- ★様式は様式集Iを参照すること。
- (5) 作成要領
- ① 事故届書
 - ・氏名又は名称、住所又は事務所所在地、事業所所在地
⇒事故届を提出する者について記載すること。
 - ・事故の状況
⇒「液化石油ガス一般消費者等事故調査報告書 [様式番号22]」により詳細に記入すること。
 - ② 液化石油ガス一般消費者等事故調査報告書

様式第57(第96条関係)

事故届書	液石	×整理番号	
		×受理年月日	年 月 日
氏名又は名称 (事業所の名称又は販売所の名称を含む。)			
住所又は事務所(本社)所在地			
事業所所在地			
事故発生年月日			
事故発生場所			
事故の状況		別紙のとおり	

年 月 日

代表者 氏名

印

都道府県知事 殿

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ×印の項は記載しないこと。
 - 3 事故の状況については、別紙にできるだけ詳細に記載すること。
 - 4 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。
この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

液化石油ガス一般消費者等事故調査報告書

様式 2

本省番号： _____

報告年月： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	整理番号： _____
報告書作成者： _____ 都・道・府・県	報告段階： _____
所属： _____ 局・部 _____ 課・室	原因判明段階： _____
氏名： _____ 電話 _____	速報（第 ____ 次） _____ 推定 確報 _____ 確定
	別添： あり なし

発生日時： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日（ ____ 曜日） ____ 時 ____ 分頃（24時間制）天気 _____ 事故分類： A級 B級 C級

LPガス事故
事故現象： 1.漏えい 2.漏えい爆発（a.漏えい爆発 b.漏えい爆発・火災） 3.漏えい火災 4.中毒・酸欠（a.一酸化炭素中毒 b.酸素欠乏）

1. 住所又は所在地： _____ 都道 _____ 市 _____ 区 _____ 府県 _____ 郡 _____ 町 _____ 村 _____ I. 豪雪地域 II. 地震防災対策強化地域	2. 氏名又は名称： _____ a. 認定対象一般消費者 b. その他
3. 建物用途： a.一般住宅 b.共同住宅 c.寮・寄宿舎 d.旅館 e.飲食店 f.その他店舗 g.学校 h.医・病院 i.工場 j.事務所 k.その他(_____)	
4. 建物構造： a.木造 b.鉄骨造 c.鉄筋コンクリート造 d.その他(_____)	5. 建物規模： 1棟(_____)階建 共同住宅の場合 世帯数(_____)
6. 屋内外区分： I. 屋外 { a. 容器周り(容器～調整器) b. ガスメーター周り c. 地上配管 d. 埋設配管 e. その他(_____) } II. 屋内 A. 発生階数 { a. 地階 b. 1階 c. 2階 d. 3階 e. その他(_____) } B. 発生部屋等 { a. 居室(イ.和室 ロ.洋室) b. 風呂場 c. 台所・厨房 d. 食堂 e. その他(_____) }	
7. LPガス供給状況： 容器（a.体積販売 b.質量販売）(_____ kg× _____ 本、 _____ kg× _____ 本)、バルク貯槽(_____ kg)、貯槽(_____ t)	
8. 毎月の使用量（直近の3ヶ月間の平均値）： _____ m ³ 9. 推定漏えい量： _____ m ³	

販売者	a. 認定販売事業者 b. その他 _____ 都道 _____ 市 _____ 区 _____ 府県 _____ 郡 _____ 町 _____ 村 _____	名称等： _____ (電話 _____ - _____ - _____) {卸売業者名： _____}	登録行政庁 (a.省 b.局 c.都道府県) 登録番号 _____
-----	--------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

売主事業者	_____ 都道 _____ 市 _____ 区 _____ 府県 _____ 郡 _____ 町 _____ 村 _____	名称等： _____ (電話 _____ - _____ - _____)
-------	-----------------------------------------------------------------	------------------------------------------

被害状況：

1. 人的被害

	死者	重傷者	軽傷者
当事者(人)			
第三者(人)			
計(人)			

被害者		第三者	性別	年齢	人的被害の区分		
氏名	摘要	○印			死亡	傷害	傷害の程度・全治日数等
						重・軽	
						重・軽	
						重・軽	
						重・軽	
						重・軽	
						重・軽	
						重・軽	

2. 物的被害 損害の程度
全焼・全壊・半焼・半壊・一部焼損壊・破損・焦損・濡損・その他(_____)
共同住宅・雑居ビル・長屋の場合は、
総戸数 _____ 戸の内被害 _____ 戸
総室数 _____ 室の内被害 _____ 室
損害見積額(_____)

被害物件 (所有・占有者、建物の構造、階数、面積等、工作物の種類 動産—機械器具・什器・備品・家財家具・自動車等)

事故の概要：事故の全容及び特に事故原因（推定）の詳細について記入する。新聞のコピー等参考資料があれば添付する。

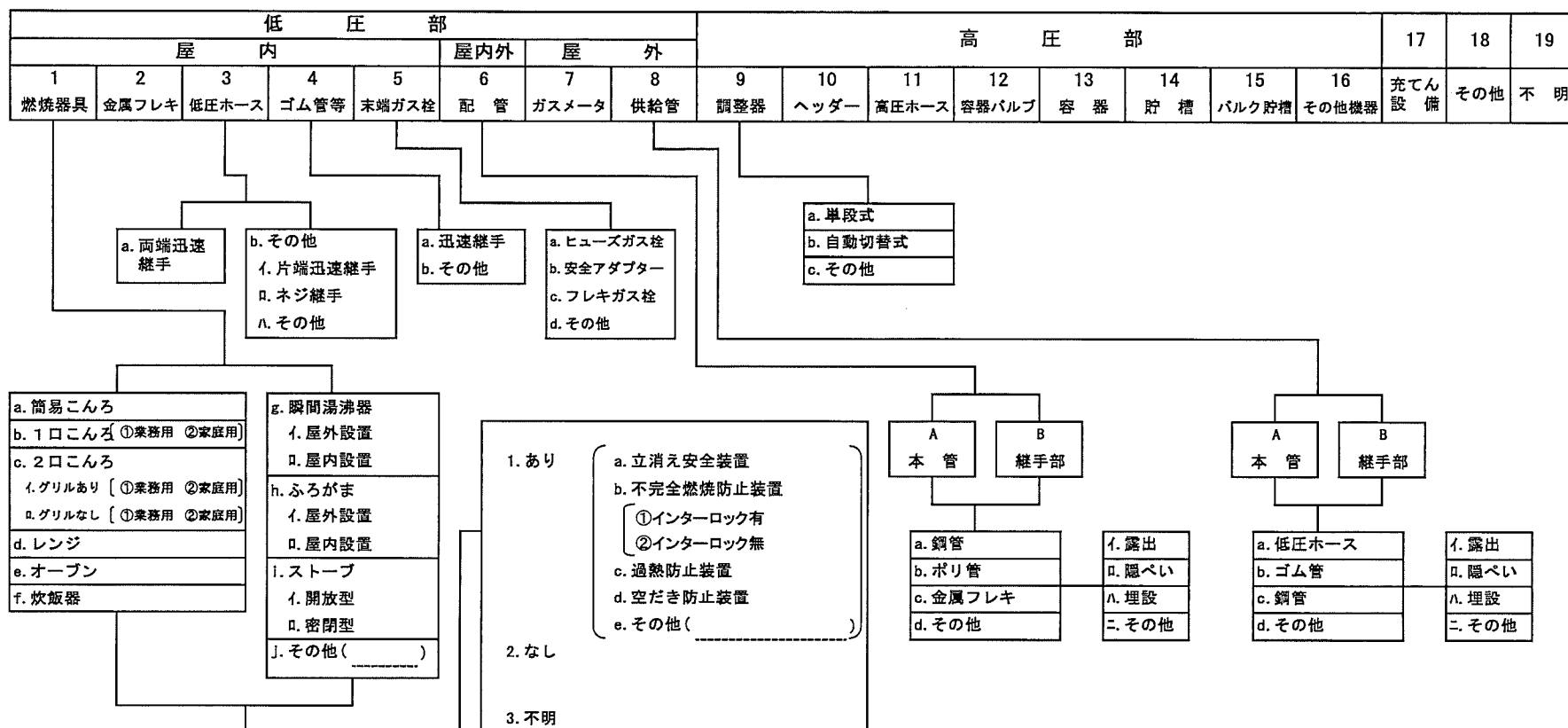
1. 全 容：

2. 原因：

a. 一次原因（直接原因）：

b. 二次原因（間接原因）：

漏えい等発生箇所： I. 漏えい等発生箇所が事故発生場所にある II. 漏えい等発生箇所が事故発生場所以外にある



漏えい等発生原因：

原因所在箇所 (名称)	原因																		
	1. 接続不良	2. 損傷	3. 腐食・劣化	4. 不具合	5. 故障	6. 凍結	7. 未使用の誤開閉	8. 器具未接続	9. 過熱	10. 点火ミス	11. 立消え	12. 弁・栓等閉止	13. 弁・栓等閉め忘れ	14. 給排気設備不良	15. 燃焼不良	16. 換気不良	17. その他	18. 不明	
1. 燃焼器具																			
2. 金属フレキ																			
3. 低圧ホース																			
4. ゴム管等																			
5. 末端ガス栓																			
6. A 配管一本管																			
B 配管継手																			
7. ガスメーター																			
8. A 供給管一本管																			
B 供給管継手																			
9. 調整器																			
10. ヘッダー																			
11. 高圧ホース																			
12. 容器バルブ																			
13. 容器																			
14. 貯槽																			
15. バルク貯槽																			
16. その他機器 (高圧部)																			
17. 充てん設備																			
18. その他																			
19. 不明																			

着火源：

- 換気扇の操作
- 冷蔵庫のサーモスタッド
- 前記以外の電気製品
- タバコの火 (マッチ、ライター) の火
- 燃焼器具の火
- 静電気
- その他 ()
- 不明

(1) 漏えい等発生箇所が特定消費設備に係る場合の名称等：

イ) 機種 (名称) : _____
 ロ) 製造者又は輸入者名 : _____
 ハ) 型式 [給排気方式: 開放式、CF、FE、BF、FF、RF]
 ニ) 製造年月: 昭和・平成 ____年 ____月
 ホ) 特監法のラベル表示 [有、無、不明]
 ① 工事業者: _____
 ② 事業者連絡先: _____
 ③ 監督者氏名: _____
 ④ 資格証の番号: _____
 ⑤ 施工内容: _____
 ⑥ 施工年月日: _____
 ヘ) ガス消費量 (____ W) { ____ kg/h }

(2) 漏えい箇所が特定消費設備以外 (調整器、ガスメーター、高圧ホース、バルク貯槽、充てん設備等) の場合の名称等：

イ) 機種 (名称) : _____
 ロ) 製造者又は輸入者名 : _____
 ハ) 型式 : _____
 ニ) 製造年月: _____

容器の結露、霜の付着状況：

結露 1. あり 2. なし 3. 不明
 霜 1. あり 2. なし 3. 不明

LPガス臭気の感知の有無：

- あり (a. 当事者 b. 同居者 c. 隣人 d. その他)
- なし
- 不明

事故発生場所におけるガス漏れ警報器の有無： 1. あり 2. なし 3. 不明

【「あり」の場合】

- A. 作動状況 (a. 電源「入」 b. 電源「切」 c. 不明)
 B. 設置位置 (a. 検知区域内 b. 検知区域外 c. 不明)
 C. 鳴動状況 (a. 鳴った b. 鳴らない c. 不明)

な事故つ故た理由
 イ. 耳が不自由
 ロ. 病気で動けない
 ハ. 酒酔い等で意識が希薄
 ニ. その他 ()

鳴らな理か
 イ. 電源が入っていない
 ロ. 探知できない位置、ガス量
 ハ. 警報器が故障、欠陥品
 ニ. その他 ()

D. 警報器の品質等

- 検定合格証あり (設置年月: 昭和・平成 ____年 ____月)
- 検定合格証なし
- 不明

事故発生先場所における供給機器安全装置設置状況：

1. 供給機器等の管理状況（設置年月は直近のものを記入）：

- a. 調整器 (型式：_____、容量：_____ kg/h、設置年月：昭和・平成____年____月)
b. ガスメータ (型式：_____、容量：_____ m³/h、設置年月：昭和・平成____年____月)
c. 高圧ホース (設置年月：昭和・平成____年____月)
d. 低圧ホース (設置年月：昭和・平成____年____月)

2. 安全装置設置状況：

[自動ガス遮断装置が設置されている場合の作動]

- a. ガス放出防止器 a. 設置 b. 無し
b. 遮断弁付ガスメーター a. 設置 {イ. Hセフ (S、II、C、L、SB、B、H) ロ. マイコンター-I} b. 無し (イ. 作動した ロ. 作動しない ハ. 不明)
c. ヒューズガス栓 a. 設置 b. 無し
d. 自動ガス遮断装置 a. 設置 (イ. ガス漏れ警報器連動 ロ. 対震 ハ. その他) b. 無し (イ. 作動した ロ. 作動しない ハ. 不明)
e. CO警報器 a. 設置 b. 無し
f. 集中監視システム a. 設置 (イ. 双方向 ロ. 片方向) b. 無し (イ. 作動した ロ. 作動しない ハ. 不明)
g. その他 (_____)

3. 安全装置等の設置義務：

- a. 設置義務施設 b. その他

責任の所在：（該当する番号を全てについて記入する。）

1. 一般消費者等 2. 販売事業者 (a. 認定 b. その他) 3. 設備工事業者 4. 器具メーカー 5. 保安機関
6. 配送センター 7. 充てん事業者 8. その他 (_____) 9. 不明 (理由： _____)

発生原因種別：（該当する番号を全てについて記入する。）

1. 自然現象 a. 暴風雨 b. 地震 c. 水害 d. 山崩れ e. 雪害
f. その他 (_____)
2. 地盤沈下
3. 動物による破損 a. 犬 b. 猫 c. ネズミ d. その他(_____)
4. 設備等の不備 a. 製作不完全（不具合等） イ. 設計ミス
ロ. 製造ミスによるもの
ハ. その他(_____)
- b. 腐食・劣化 イ. 経年によるもの
ロ. 設置環境の不良
ハ. その他(_____)
- c. 施工不完全 イ. 設備の設計段階及び工事の施工段階における設計ミスによるもの
ロ. 工事ミスによるもの
ハ. その他(_____)
- d. 容器交換不備 イ. 容器交換作業に係る設備損傷
ロ. 容器の接続不良及び未接続
ハ. 作業終了後の点検ミス
ニ. 消費者宅のガス使用状態未確認
ホ. 容器交換時に消費者が不在の場合の連絡不徹底によるもの
ヘ. その他(_____)
- e. 供給設備点検不備 イ. 点検（法令に基づく点検）の不履行又は点検不十分
ロ. 点検作業ミス
ハ. 消費者に対する連絡（ガス使用の注意）不徹底
ニ. 使用中の機器の故障
ホ. 点検作業中の設備の破損等によるもの
ヘ. その他(_____)
- f. 消費設備調査不備 イ. 調査（法令に基づく調査）の不履行又は調査不十分
ロ. 調査作業ミス
ハ. 消費者に対する連絡（ガス使用の注意）不徹底
ニ. 使用中の機器の故障
ホ. 調査作業中の設備の破損等によるもの
ヘ. その他(_____)
- g. 周知不備 イ. 周知（法令に基づく周知）の不履行又は周知不十分
ロ. その他(_____)
- h. 緊急時対応不備 イ. 対応の不履行及び遅れ
ロ. 作業中のミス
ハ. 作業中の設備の破損
ニ. 消費者に対する連絡不徹底
ホ. その他(_____)
- i. 緊急時連絡不備 イ. 連絡の不履行及び連絡の遅れ
ロ. その他(_____)
5. 充てん作業の不備 イ. 作業中のミス
ロ. その他(_____)
6. 消費者の取扱い不備 イ. 消費者の器具の取扱いミス
(a. 男性 b. 女性) ロ. その他(_____)
(イ. 13才未満 ロ. 13~64才 ハ. 65才以上)
7. 自殺
8. その他 (_____)
9. 不明 (理由： _____)

